

旭川医科大学大学院学則の一部を改正する学則を次のように定める。

旭川医科大学長 西 川 祐 司

旭川医科大学大学院学則の一部を改正する学則

旭川医科大学大学院学則（平成 16 年旭医大達第 151 号）の一部について、下表右欄（「現行」欄）を同表左欄（「改正後」欄）のように改正する。

※下線部分は、改正箇所を示す。

改正後	現行
<p>(略)</p> <p>第5章 課程の修了及び学位の授与 (修了要件)</p> <p>第15条 修士課程修了の要件は、本大学院に2年以上在学し、第8条に定める授業科目について<u>次の各号に掲げる単位</u>を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p><u>(1)修士論文コース 30単位以上</u> (新設)</p> <p><u>(2)高度実践コース</u> (新設)</p> <p><u>(ア)がん看護学 43単位以上</u> (新設)</p> <p><u>(イ)高齢者看護学 42単位以上</u> (新設)</p> <p>2 修士論文については、適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果をもって代えることができる。</p> <p>3 博士課程修了の要件は、本大学院に4年以上在学し、第8条に定め</p>	<p>(略)</p> <p>第5章 課程の修了及び学位の授与 (修了要件)</p> <p>第15条 修士課程修了の要件は、本大学院に2年以上在学し、第8条に定める授業科目について<u>30単位以上</u>を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2 修士論文については、適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果をもって代えることができる。</p> <p>3 博士課程修了の要件は、本大学院に4年以上在学し、第8条に定め</p>

る授業科目について32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本大学院に3年以上在学すれば足りるものとする。

- 4 第12条の規定により本大学院に入学する前に修得した単位を本大学院において修得したものとみなす場合であつて、当該単位の修得により本大学院の修士課程又は博士課程の教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して、1年を超えない範囲で当該研究科が定める期間在学したものとみなすことができる。ただし、修士課程については、当該課程に少なくとも1年以上在学するものとする。

(略)

#### 附 則

1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。

2 令和7年3月31日に在学する者については、改正後の学則別表第1にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1（第8条関係）

(略)

#### **【改正理由】**

大学院の教育体制の整備に伴い、所要の改正を行うものである。

る授業科目について32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本大学院に3年以上在学すれば足りるものとする。

- 4 第12条の規定により本大学院に入学する前に修得した単位を本大学院において修得したものとみなす場合であつて、当該単位の修得により本大学院の修士課程又は博士課程の教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して、1年を超えない範囲で当該研究科が定める期間在学したものとみなすことができる。ただし、修士課程については、当該課程に少なくとも1年以上在学するものとする。

(略)

別表第1（第8条関係）

(略)

改正後										現行									
【修士論文コース】										【修士論文コース】									
科目区分 (新設)	分野 (新設)	領域 (新設)	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数			(削除)	科目区分	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数			必修・選択の別				
					講義	演習	実験・実習					講義	演習	実験・実習					
共通科目	二 (新設)	二 (新設)	看護形態機能学特論	1	2			(削除)	共通科目	看護形態機能学特論	1	2			選択必修				
			保健統計特論	1	2			(削除)		保健統計特論	1	2			選択必修				
			看護理論特論	1	2			(削除)		看護理論特論	1	2			選択必修				
			看護研究特論	1	2			(削除)		看護研究特論	1	2			選択必修				
			カウンセリング特論	1	2			(削除)		カウンセリング・コンサルテーション特論	1	2			選択必修				
			看護倫理特論	1	2			(削除)		看護倫理特論	1	2			選択必修				
			看護教育学特論 (新設)	1 (新設)	2 (新設)														
専門科目	看護の イノベーション と健康増進分野 (新設)	成人看護学	成人看護学特論	1	2			(削除)	専門科目	看護管理学	看護管理学特論	1	2			選択必修			
			成人看護学演習	1		4		(削除)			看護管理学演習	1		4		選択必修			
			成人看護学特別研究	2		14		(削除)			看護管理学特別研究	2		14		選択必修			
		健康教育開発学	健康教育開発学特論	1	2			(削除)		基礎看護科学	基礎看護科学特論	1	2			選択必修			
			健康教育開発学演習	1		4		(削除)			基礎看護科学演習	1		4		選択必修			
			健康教育開発学特別研究	2		14		(削除)			基礎看護科学特別研究	2		14		選択必修			
		応用基礎医学	応用基礎医学特論	1	2			(削除)		生体防御学	生体防御学特論	1	2			選択必修			
			応用基礎医学演習	1		4		(削除)			生体防御学演習	1		4		選択必修			
			応用基礎医学特別研究	2		14		(削除)			生体防御学特別研究	2		14		選択必修			
	地域社会の発展・創成分野 (新設)	高齢者看護学	高齢者看護学特論	1	2			(削除)	看護教育学	看護教育学特論	1	2			選択必修				
			高齢者看護学演習	1		4		(削除)		看護教育学演習	1		4		選択必修				
			高齢者看護学特別研究	2		14		(削除)		看護教育学特別研究	2		14		選択必修				
		在宅看護学	在宅看護学特論	1	2			(削除)	精神保健看護学	精神保健看護学特論	1	2			選択必修				
			在宅看護学演習	1		4		(削除)		精神保健看護学演習	1		4		選択必修				
			在宅看護学特別研究	2		14		(削除)		精神保健看護学特別研究	2		14		選択必修				
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論	1	2			(削除)	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論	1	2			選択必修				
			公衆衛生看護学演習	1		4		(削除)		公衆衛生看護学演習	1		4		選択必修				
			公衆衛生看護学特別研究	2		14		(削除)		公衆衛生看護学特別研究	2		14		選択必修				
	基礎看護学	基礎看護学特論	1	2			(削除)	健康教育開発学	健康教育開発学特論	1	2			選択必修					
		基礎看護学演習	1		4		(削除)		健康教育開発学演習	1		4		選択必修					
		基礎看護学特別研究	2		14		(削除)		健康教育開発学特別研究	2		14		選択必修					
	看護管理学	看護管理学特論	1	2			(削除)	小児・家族看護学	小児・家族看護学特論	1	2			選択必修					
		看護管理学演習	1		4		(削除)		小児・家族看護学演習	1		4		選択必修					
		看護管理学特別研究	2		14		(削除)		小児・家族看護学特別研究	2		14		選択必修					
	発達促進分野 (新設)	母性看護学・助産学	母性看護学・助産学特論	1	2			(削除)	母性看護学・助産学	母性看護学・助産学特論	1	2			選択必修				
			母性看護学・助産学演習	1		4		(削除)		母性看護学・助産学演習	1		4		選択必修				
			母性看護学・助産学特別研究	2		14		(削除)		母性看護学・助産学特別研究	2		14		選択必修				
		小児・家族看護学	小児・家族看護学特論	1	2			(削除)	高齢者看護学	高齢者看護学特論	1	2			選択必修				
小児・家族看護学演習			1		4		(削除)	高齢者看護学演習		1		4		選択必修					
小児・家族看護学特別研究			2		14		(削除)	高齢者看護学特別研究		2		14		選択必修					
精神保健看護学		精神保健看護学特論	1	2			(削除)	成人看護学	成人看護学特論	1	2			選択必修					
		精神保健看護学演習	1		4		(削除)		成人看護学演習	1		4		選択必修					
		精神保健看護学特別研究	2		14		(削除)		成人看護学特別研究	2		14		選択必修					
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	基礎看護学	基礎看護学特論	1	2			選択必修						
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	基礎看護学演習		1		4		選択必修							
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	基礎看護学特別研究		2		14		選択必修							
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	在宅看護学	在宅看護学特論	1	2			選択必修						
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	在宅看護学演習		1		4		選択必修							
(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	(削除)	在宅看護学特別研究		2		14		選択必修							

< 修了要件 >  
計30単位以上を修得し、かつ、修士論文審査及び最終試験に合格すること。

< 履修方法 >  
1 共通科目の中から4単位以上、専門科目の所属領域から20単位以上修得すること。  
(削除)  
2 上記1で30単位に満たない場合は、共通科目または所属領域以外の特論を履修し、計30単位以上を修得すること。  
3 専門領域を変更した場合には、既修得の特論及び演習は所属領域の専門科目修得単位として認めることができる。

< 修了要件 >  
計30単位以上を履修し、かつ、修士論文審査及び最終試験に合格すること。

< 履修方法 >  
1 所属領域の専門科目20単位を履修すること。  
2 共通科目の中から4単位以上履修すること。  
3 上記1と2の合算した単位が、30単位に満たない場合は、所属領域以外の特論を履修し、計30単位を履修すること。  
4 専門領域を変更した場合には、既修得の特論及び演習は所属領域の専門科目修得単位として認めることができる。

【高度実践コース】

科目区分	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数			履修方法 がん看護学(新設)		
			講義	演習	実験 実習			
共通科目	(削除)	(削除)	(削除)			(削除)		
	(削除)	(削除)	(削除)			(削除)		
	看護理論特論	1	2			選択必修 (4科目以上)		
	看護教育学特論	1	2					
	看護管理学特論	1	2					
	看護研究特論	1	2					
	コンサルテーション特論	1	2					
	看護倫理特論	1	2					
	看護形態機能学特論(新設)	1 (新設)	2 (新設)			選択 (新設)		
	保健統計特論(新設)	1 (新設)	2 (新設)			選択 (新設)		
	臨床薬理学特論	1	2			必修 必修 必修		
看護病態学特論	1	2						
看護ヘルスアセスメント	1	2						
専門科目	がん看護学領域	専攻分野 共通科目	がん多職種連携特論	1~2	1			必修 必修 必修 必修
			腫瘍病態学特論	1	1			
			腫瘍治療学特論	1	1			
			がん看護学特論Ⅰ	1	2			
			がん看護学特論Ⅱ	1	2			
		専攻分野 専門科目	がん看護学演習Ⅰ	1		2		必修 必修
			がん看護学演習Ⅱ (高度症状緩和ナビゲーション演習)	1		2		
			がん看護学特論Ⅲ	2	2			必修 必修
			がん看護学演習Ⅲ (高度症状緩和とコミュニケーション演習)	2		2		
		実習・研究	がん看護学実習Ⅰ	2			2	必修 必修 必修
			がん看護学実習Ⅱ	2			4	
	がん看護学実習Ⅲ (高度症状緩和ナビゲーション実習Ⅰ)		2			2	必修	
	がん看護学実習Ⅳ (高度症状緩和ナビゲーション実習Ⅱ)		2			2		
	がん看護学課題研究		2			4	必修	
	高齢者看護学領域	専攻分野 共通科目	高齢者看護学特論Ⅰ	1	2			(削除)
			高齢者看護学特論Ⅱ	1	2			(削除)
			高齢者看護学特論Ⅲ	1	2			(削除)
			高齢者看護学特論Ⅳ	1	2			(削除)
			高齢者看護学特論Ⅴ	1	2			(削除)
専攻分野 専門科目		高齢者看護学演習Ⅰ	1		2		(削除)	
		高齢者看護学演習Ⅱ	1		2		(削除)	
		高齢者看護学実習Ⅰ	2			4	(削除)	
実習・研究	高齢者看護学実習Ⅱ	2			6	(削除)		
	高齢者看護学課題研究	2			4	(削除)		

<修了要件>

「がん看護学」の場合は43単位以上又は「高齢者看護学」の場合は42単位以上修得するとともに、修士論文(課題研究)審査及び最終試験に合格すること。

<履修方法>

1 共通科目は14単位以上修得すること。また、下記(1)(2)の条件も満たすこと。

(1) 看護理論特論、看護教育学特論、看護管理学特論、看護研究特論、コンサルテーション特論又は看護理論特論から4科目以上履修すること。(新設)

(2) 臨床薬理学特論、看護病態学特論及び看護ヘルスアセスメントを履修すること。(新設)

2 所属領域の専門科目は、全て履修すること。

(削除)

(削除)

(削除)

(削除)

<備考>

修了要件を満たすことで、公益社団法人日本看護協会が認定する「がん看護専門看護師」又は「老人看護専門看護師」の受験要件を満たす。(新設)

【高度実践コース】

科目区分	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数			必修・選択の別		
			講義	演習	実験 実習			
共通科目	看護形態機能学特論	1	2			選択		
	保健統計特論	1	2			選択		
	看護理論特論	1	2			選択必修		
	看護教育学特論	1	2			選択必修		
	看護管理学特論	1	2			選択必修		
	看護研究特論	1	2			選択必修		
	コンサルテーション特論	1	2			選択必修		
	看護倫理特論	1	2			選択必修		
	臨床薬理学特論	1	2			選択		
	看護病態学特論	1	2			選択		
	看護ヘルスアセスメント	1	2			選択		
専門科目	がん看護学	専攻分野 共通科目	がん多職種連携特論	1~2	1			選択必修 選択必修 選択必修 選択必修
			腫瘍病態学特論	1	1			
			腫瘍治療学特論	1	1			
			がん看護学特論Ⅰ	1	2			
			がん看護学特論Ⅱ	1	2			
		専攻分野 専門科目	がん看護学演習Ⅰ	1		2		選択必修 必修
			がん看護学演習Ⅱ (高度症状緩和ナビゲーション演習)	1		2		
			がん看護学特論Ⅲ	2	2			必修 必修
			がん看護学演習Ⅲ (高度症状緩和とコミュニケーション演習)	2		2		
		実習・研究	がん看護学実習Ⅰ	2			2	必修 必修 選択
			がん看護学実習Ⅱ	2			4	
	がん看護学実習Ⅲ (高度症状緩和ナビゲーション実習Ⅰ)		2			2	選択	
	がん看護学実習Ⅳ (高度症状緩和ナビゲーション実習Ⅱ)		2			2		
	がん看護学課題研究		2			4	必修	
	高齢者看護学	専攻分野 共通科目	高齢者看護学特論Ⅰ	1	2			選択必修 選択必修 選択必修 選択必修
			高齢者看護学特論Ⅱ	1	2			
			高齢者看護学特論Ⅲ	1	2			
			高齢者看護学特論Ⅳ	1	2			
			高齢者看護学特論Ⅴ	1	2			
専攻分野 専門科目		高齢者看護学演習Ⅰ	1		2		選択必修 選択必修	
		高齢者看護学演習Ⅱ	1		2			
		高齢者看護学実習Ⅰ	2			4	選択必修 選択必修	
実習・研究	高齢者看護学実習Ⅱ	2			6	必修		
	高齢者看護学課題研究	2			4			

<修了要件>

計30単位以上を履修し、かつ、修士論文審査(特定の課題についての研究の成果を含む。)及び最終試験に合格すること。

<履修方法>

1 共通科目は、8単位以上履修すること。但し、選択必修である授業科目を4科目以上含まなければならない。

2 所属領域の専攻分野共通科目及び専攻分野専門科目から、12単位以上履修すること。

3 所属領域の実習・研究にある授業科目は、10単位以上履修すること。

4 公益社団法人日本看護協会が認定するがん看護専門看護師又は老人看護専門看護師の審査を受けることを希望する学生は上記1から3にかかわらず次の各号によること。

(1) 共通科目は14単位以上履修すること。但し、臨床薬理学特論、看護病態学特論及び看護ヘルスアセスメントを履修するとともに、選択必修である授業科目を4科目以上含まなければならない。

(2) 所属領域の専門科目は、全て履修すること。